

市の動き

北上市高齢者見守り安心ネットワーク事業 協定調印式



調印式に出席した協力事業者の皆さんと高橋市長

北上市高齢者見守り安心ネットワーク事業協定調印式は10月20日、生涯学習センターで行われました。協力事業者25社のうち21社が調印式に出席。協力事業者を代表し、東北電力(株)花北営業所の工藤浩明所長が高橋市長と協定書への署名、交換を行い、調印式に参加した事業者に協定書を交付しました。

同事業は日常の業務で高齢者宅を訪問する民間事業者と連携。協力事業者は日常の業務で高齢者宅などを訪れた際に異変を感じたら市へ連絡し

ます。市は高齢者の状況を確認し、必要な支援につなげます。北上市高齢者見守り安心ネットワークは地域全体で高齢者を見守る体制をつくり、住み慣れた地域で安心して生活ができる地域社会を目指します。

協力事業者

- 東北電力(株)花北営業所
- 岩手県高圧ガス保安協会北上支部
- ヤマト運輸(株)岩手主管支店
- 佐川急便(株)北東北支店
- 日本郵便(株)北上郵便局
- 日本郵便(株)横川目郵便局
- 北上信用金庫
- 岩手ヤクルト販売(株)北上支店
- 小岩井牛乳北上販売所竹本本店
- 全酪牛乳北上販売所(有)和賀販売所
- (有)サンシーアイ
- 北上店
- (株)亀屋
- いわて生活協同組合
- 宅配弁当パマロ
- (株)タカサン
- 宅配クック
- 123花北店
- まごころ弁当
- 北上中央店
- 仕出し味ろまん
- 特定非営利活動法人あすの黒岩を築く会
- (有)ASA北上
- 岩手日日販売(株)北上店
- 河口新聞店
- 口内新聞販売店
- 読売センター北上

北上市空き家対策フォーラム開催

北上市空き家対策フォーラムは17日、市民交流プラザで開催されました。上智大学法科大学院長の北村喜宣教授が「政策法務と空き家対策」と題し基調講演を行いました。その後、岩手県立大学総合政策学部倉原宗孝教授の司会で「どうする！北上市の空き家対策」をテーマにトークセッションが行われました。トークセッションには講演を

行った北村教授も参加。東北大学大学院の姥浦道生教授と北上市空家等対策協議会の菊池千里委員、市都市整備部都市計画課の阿部英志課長が市の空き家問題や取り組み方について、笑いを交えながら活発な意見を交わしました。会場には約130人が集まり、質疑応答では「農地の中の空き家はどうか」といった問い合わせや「空き家をつ

小型動力ポンプ付積載車を配備

小型動力ポンプ付積載車引き渡し式は4日、北上市防災備蓄倉庫で行われました。同車両は市消防団第5分団第2部(飯豊3区、6区)の車両の老朽化に伴い更新されたものです。式では消防防災部長から消防団長へ鍵や車検証などが引き渡され、その後、消防団長から第5分団長へ渡されました。

引き渡し式の後、団員は車両の機能の確認や放水テストなどを行い新車両の取り扱い

方法を確認しました。



引き渡し式の後、新車両の説明を受ける消防団の皆さん



北村教授のスライドを使った講演に耳を傾ける訪れた人たち

くらないための対策は」などといった質問が出されました。

市内の避難者状況

(10月31日現在)

区市町村	宮古市	山田町	大槌町	釜石市	大船渡市
世帯	2(-1)	14(0)	27(-1)	18(0)	9(0)
人数	4(-1)	31(0)	45(-2)	42(0)	17(0)
区市町村	陸前高田市	宮城県	福島県	合計	
世帯	10(0)	10(0)	10(0)	100(-2)	
人数	13(0)	17(0)	22(0)	191(-3)	

※(-)は前月比。市で把握している人数です。市内に避難している人で、まだ北上市に連絡していない人はご連絡ください。

平成27年度緊急消防援助隊 北海道東北ブロック合同訓練

平成27年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練は10月28日・29日に市内各所を会場に行われました。

同隊は平成7年の阪神・淡路大震災を教訓に、被災した都道府県の消防力だけでは対応が困難な場合に、全国の消防機関が素早く応援に駆け付け、人命救助活動などを効果的に実施することを目的に創設。15年6月の消防法の改正により法制化され、27年4月

現在、全国で4984隊が登録されています。発足からこれまで災害や事故で30回の出動実績があり、岩手県では20年の岩手・宮城内陸地震、23年の東日本大震災などに出動。これまで4度の消火・救助活動を行っています。

今回の訓練は岩手県内陸部を震源とした震度6強の地震が発生し大きな被害が出ているとの想定で実施されました。北海道・東北ブロックは8道



写真は毒・劇物災害対応訓練。有毒な液体が散乱したという想定で、防護服を着用し要救助者を救助する訓練を行いました

任期付職員募集

▶任用期間…平成28年4月1日から3年間

試験職種	業務内容	採用予定者数	年齢 (H27.4.1現在)	要件
一般事務	一般行政事務	3人程度	20歳以上 45歳未満 S45.4.2～ H7.4.1生	就業経験が あり、Word およびExcel の操作が できる あよ本人

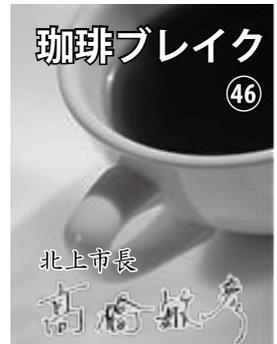
●受験案内・申込書

- ▶直接入手…企画部総務課と江釣子・和賀民生係で配布
- ▶郵便による請求…封筒の表に「北上市職員採用試験申込書請求」と朱書きし、あて先と郵便番号を記載した返信用封筒(長3サイズ縦23^号、横12^号程度に92円切手を貼付)を同封し、企画部総務課(〒024-8501住所不要)へ
- ▶市のホームページからダウンロード…<http://www.city.kitakami.iwate.jp/>
- 申し込み…12月18日(金)まで(当日消印有効)
- 一次試験…1月9日(土) 会場：本庁舎
- 問い合わせ…企画部総務課 ☎72-8227

県(北海道、東北6県および新潟県)で組織され、各道県から259隊、約1000人が参加。県内からは県や県警災害派遣医療チーム(DMAT)および災害救助犬も参加し、訓練想定の詳細を事前に明らかにしないブライント型の訓練が行われました。

28日は旧県立北上病院を会場に部隊運用訓練が行われたほか、北上総合運動公園では後方支援活動訓練を実施。29日は市立公園展勝地、立花10地割内・街区を会場に部隊運用訓練、街区探索救助救出訓練が行われ、さまざまな状況に応じた訓練で関係機関との連携を確認するなど大規模な災害への備えを万全にしました。

ツール・ド・ラ・フランス



毎年7月にフランスを中心に開催される自転車のプロロードレースのことではない。山形県上市市を舞台に今年で26回目を迎えたサイクリングイベントのことである。近年、海外からの観光客が急増し、特にも自転車で景勝地を巡る旅は人気を博している。北上市の観光アドバイザー、三堀裕雄氏は「北上市は100を超える景観資産もあり、自転車で景勝地を巡る観光商品を開発するべき」と言う。

百聞は一見に如かず、と言うことで、ラ・フランスやコンニャクなどの特産物で有名な上市市で開催されたツール・ド・ラ・フランスにエントリー。聞くところによると、毎年エントリー開始と同時に千人の定員が埋まる程の人気イベントである。今回は山形

新幹線を使つての輪行で、カミさんと二人分の車輪を外し、輪行バックに詰め込む作業は、少々手間がかかるものの、それもまた楽しみの一つ。前日イベントの「まちなかサイクリング」は、上山城や武家屋敷などの名所を巡るスタンプラリーである。前夜祭は200人を超える参加者と大会スタッフが集い、自転車談義やご当地自慢の花が咲く。

大会当日はあいにくの雨となったが、参加者のほとんどは雨具の準備よろしく、元気に参加していた。コースは60km、30km、ファミリーの3コース。レースではなく、途中にある名物のラ・フランスや玉こんにゃく食べ放題をひたすら楽しみながら完走する大会である。11月初旬、晴れていけば、きっと素晴らしい紅葉を満喫しながらのサイクリングになったと思うが、上市市民ボランティアの心意気もあり、雨でも十分に楽しいイベントとなった。

今回のかみのやまツール・ド・ラ・フランスへの参加は、三堀氏の提言の可能性を改めて感じさせてくれるものとなった。